

# 令和2年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和2年4月1日現在)

## 1 法人の概要

法人名	たまたま振興株式会社	所管課	産業振興課
所在地	〒028 - 4134 盛岡市下田字生出893番地11		
電話番号	( 019 ) 683 - 3215	設立年月日	平成9年9月5日
代表者	代表取締役社長 福田 稔 <input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 市OB <input type="checkbox"/> 市現職 <input type="checkbox"/> その他	
設立目的	農村資源を活用した都市との交流を推進し、地域の活性化を図ると共に市民の保養と憩いの場として心身の健全化に向けて、利用促進を図る。		
主要事業	① 宿泊事業    ⑤ 産直売店事業 ② クアハウス(入浴)事業                      ⑥ 地場産品・特産品の開発 ③ 食工房事業(4工房) ④ 郷土食販売事業		

## 2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
<input checked="" type="checkbox"/> ある (アドレス <a href="http://yutoland-himekami.com/">http://yutoland-himekami.com/</a> ) )
<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月 ) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input type="checkbox"/> その他( )
ホームページ以外での情報提供の方法
盛岡市ホームページで出資法人としての行政評価を公表。同市情報公開室で決算関係書類閲覧可。

## 3 職員構成

(単位:人)

	常勤			非常勤	合計		
		うち市OB	うち市派遣				
役員	取締役			8	8		
	監査役			2	2		
	計	0	0	10	10		
職員	管理職	正職員	1	1	0	1	
		臨時職員		—	—		
	一般職	正職員	6		0	30	
		臨時職員	24	—	—		
	計	正職員	7	1	0	31	
		臨時職員	24	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増	0	減	2	常勤職員の平均年齢	54.3 歳
常勤職員の給与体系		<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input type="checkbox"/> その他( )					

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	55,000 千円	本市出資等額	47,500 千円	本市出資等割合	86.3 %
主な出資等者					/
① 盛岡市		(出資等割合	86.3 %)		
② 新岩手農業協同組合		(出資等割合	9.0 %)		
③ 岩手中央酪農業協同組合		(出資等割合	3.6 %)		
④ 盛岡商工会議所		(出資等割合	0.9 %)		
⑤		(出資等割合	%)		
令和2年度における当市の財的関与の状況	補助金	0 千円	(収入全体の	%)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	%)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	25,045 千円	(収入全体の	25.2 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
①		(令和2年度予算額	千円)		
②		(令和2年度予算額	千円)		
③		(令和2年度予算額	千円)		
負担金・交付金内訳					
①		(令和2年度予算額	千円)		
②		(令和2年度予算額	千円)		
委託料内訳					
①		(令和2年度予算額	千円)		
②		(令和2年度予算額	千円)		
指定管理料内訳					
① 盛岡市総合交流ターミナル指定管理料		(令和2年度予算額	25,045 千円)		
②		(令和2年度予算額	千円)		
③		(令和2年度予算額	千円)		
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		盛岡市総合交流ターミナル(ユートランド姫神)			
		利用料金収入(令和2年度予算額)	99,272 千円		
		法人の収入全体の	79.85 %		

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名 称	盛岡市総合交流ターミナル(ユートランド姫神)
--------	------------------------

## 6 法人の経営内容の詳細

### (1) 取組目標

指標名	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
①売上目標	千円	計画	117,120	122,300	123,500
		実績	75,844	123,120	123,201
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。  
 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。  
 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

### (2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収支の状況	売上高(A)	75,844	123,120	123,201
	売上総利益	62,197	100,134	100,447
	販売費・一般管理費(B)	95,117	121,768	120,956
	営業利益	▲ 32,920	▲ 21,634	▲ 20,508
	経常利益(C)	▲ 3,157	▲ 3,798	9,483
	税引前当期純利益	▲ 3,157	▲ 3,798	9,483
	当期純利益	▲ 3,342	▲ 3,983	9,298
財産の状況	資産(D)	5,858	8,388	14,954
	うち流動資産(E)	5,157	7,820	13,193
	うち固定資産	701	568	1,761
	負債	10,437	16,950	14,218
	うち流動負債(F)	10,437	16,950	14,218
	うち短期借入金(G)			
	うち有利子負債(H)			
	うち固定負債			
	うち長期借入金(I)			
	うち有利子負債(J)			
	純資産	▲ 4,578	▲ 8,562	735
うち資本金(K)	55,000	55,000	55,000	
うち剰余金(L)	▲ 59,578	▲ 63,562	▲ 54,265	

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
組織の状況	常勤役員数(M)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(N)	29	29	31
	うち常勤職員数	28	28	31
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員			
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(M/総役員数)			
	管理職員比率	3.4	3.4	3.2
職員新規採用数				
うち常勤職員数				
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	▲ 4.1	▲ 3.0	7.6
	販売費・一般管理費比率(B/A)	125.4	98.9	98.1
	流動比率(E/F)	49.4	46.1	92.7
	借入金依存度((G+I)/D)	0.0	0.0	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	▲ 78.1	▲ 102.0	4.9
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	2,615	4,245	3,974
本市の財政的関与等の状況	補助金額			
	① 盛岡市総合交流ターミナル20周年記念事業費補助金		1,000	
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	31,087	17,966	32,124
	① 燃料費変動に伴う指定管理料		273	
	② 運営費に係る指定管理料	31,087	17,693	32,124
③				
貸付金額				
損失補償額				
債務保証額				

令和元年度決算の概要

売上は、2月までは計画を上回っていたが、3月頃からの新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けたため、計画未達の123,200千円となった。経費は重油ボイラー1機故障とチップ単価増により燃料費が増加したが、全体としては減少となった。売上及び営業外収益153,192千円、売上原価及び販管費143,709千円となり経常利益9,483千円、当期純利益は9,298千円となった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

D	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント)売上目標は未達であったが、営業収支が前期比で1,000千円ほど改善した。これは、期中から一人二役の人員配置の試行や、仕入値等の売上原価監視強化を通じた収益性の向上に取り組んだ結果と評価している。安定的な経営を目指すうえで、今後についても、各部門毎の収益性の点検や、人員配置・業務分担のあり方等に注意を払い、営業収支の改善に繋がる取り組みの継続を所望します。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成30年度決算において黒字である。		○
2	令和元年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。	○	
4	令和元年度決算において減価償却前黒字である。		
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		○
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。	○	
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		